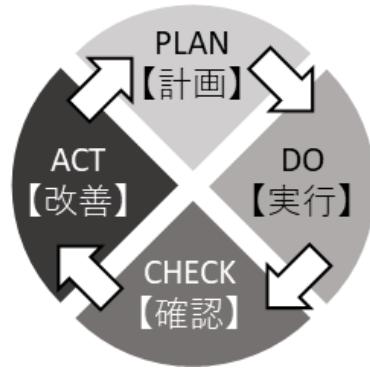


1 事務事業評価について（昨年度に審議した内容）

(1) 概要

行政活動の基礎的な部分である業務活動について毎年、活動実績やコストに対する評価を行うことによって、業務活動の達成度、効率性等を高めて、業務改善を図っていく取組（P D C A サイクル）



(2) 課題

- ア 大局的な視点で政策・施策の進捗状況が把握できない。
- イ 年度単位の視点に留まり、中長期的な改善に結びつかない。
- ウ 長年の運用で評価結果が固定化し、活用されていない。

(3) 総合計画との連携

令和 7 年度が計画期間の中間期に当たるため、見直しを行う。
行政分野別の施策の現状確認のため、個別計画の進捗状況を取りまとめて把握する必要がある。

※ 総合計画

市の将来都市像の実現のため、長期的な展望でまちづくりの基本的な方針を定め、様々な分野にわたる市の事業を総合的に進めて行くための計画

図 1 体系図（括弧内はR5の見込み件数）

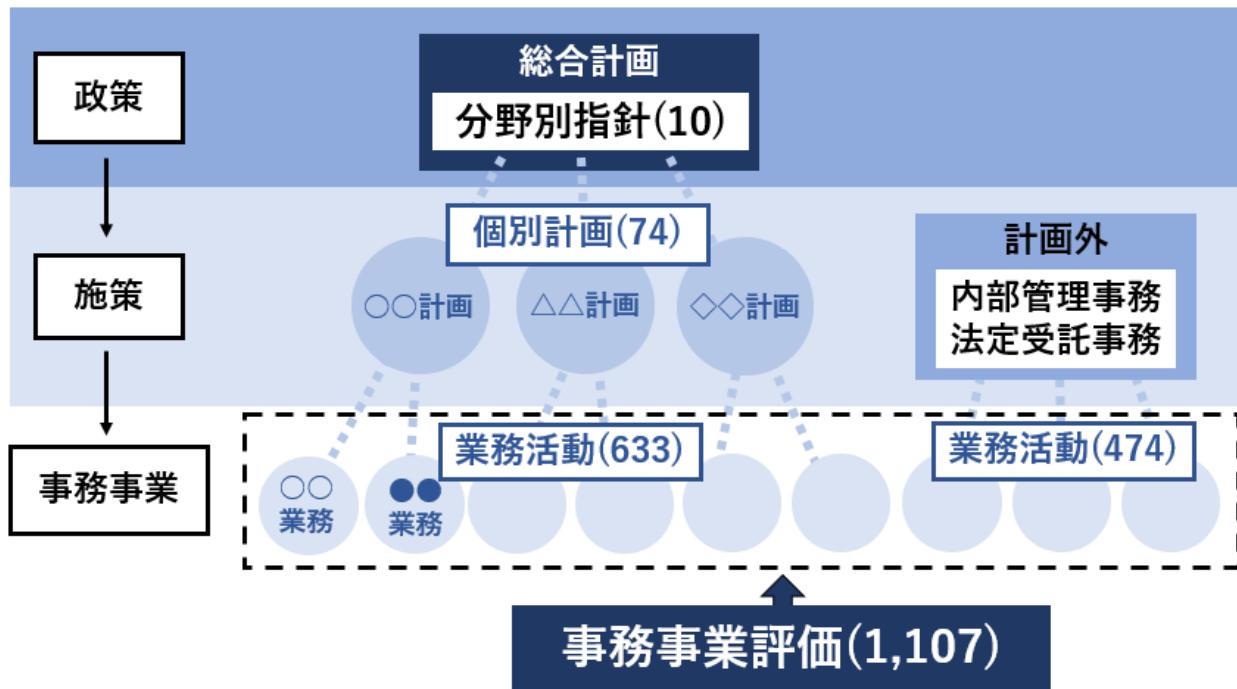


図 2 総合計画に基づく体系構成例

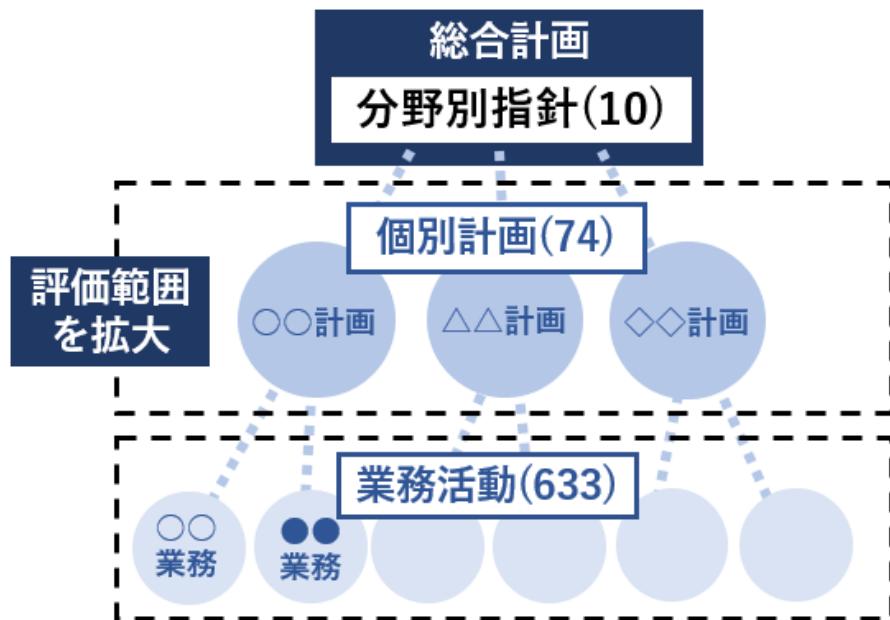
政策		施策		事務事業	
総合計画 分野別指針		個別計画名		業務活動名	
1	(都市インフラ)	地球温暖化対策実行計画		省エネ家電製品設置費補助	
2	(防災・強靭化)			新エネルギーシステム設置等補助	
3	持続可能な循環型の 都市づくり（環境・農山村）			地球温暖化防止活動支援	
4	(地域社会)			ゼロカーボンシティ推進業務	
5	(保健・医療・福祉)			⋮	
6	(子育て・男女共同参画)	一般廃棄物処理基本計画		ごみステーション管理	
7	(教育・文化)			リサイクル啓発	
8	(商業・観光)			生ごみ減量化促進補助	
9	(工業)			ごみ焼却施設整備	
10	(行政・パートナーシップ)	農業振興ビジョン2030		⋮	
				地消地産・消費者交流推進	
				新規就農支援対策	
				道の駅藤川宿管理運営	
				⋮	
		⋮		⋮	

2 見直しの方向性

(1) 評価範囲の拡大

74件の個別計画について、数値指標の達成度、取組実績、社会環境変化等の評価を行い、取りまとめる。6月5日に全庁に作成依頼済み。

(資料3 個別計画評価表参照)



(2) 個別計画評価表の活用

取りまとめた個別計画の評価表に事務事業評価の結果を連結させたものを資料として次の3課で情報共有し、個別計画の進捗状況や今後の展開に関するヒアリングを実施する。

ヒアリング、個別計画評価、事務事業評価(資料4 業務評価シート)の結果に基づき、見直しの余地がある業務活動を洗い出す。

課名	所管事務	視点
企画課	総合計画	総合計画との整合
	公民連携	政策としての重要性
行政経営課	行政改革	事務事業評価の分析
	事務事業評価	業務改善
財政課	予算編成	費用対効果
	財政計画	適正な受益者負担